



地域の防火防災に尽力 令和2年秋の叙勲

令和2年秋の叙勲で、倉野義彦さん(小津奈木)に端宝単光章が授与されました。昭和51年に町消防団に入団し、副分団長、分団長を歴任。平成24年までの約36年にわたり消防業務に励まれ、地域の防火防災に尽力されました。倉野さんは「この章をいただけてうれしい。約36年間、消防団活動をやり切ったという思いが強い」と話していました。



↑端宝単光章を受章した倉野さん

大空高く舞い上がれ! 新春の集い親子たこ揚げ大会

新春の集い親子たこ揚げ大会が1月17日(日)、総合グラウンドで行われ、家族連れなど約50人が参加し、自作のたこを青空になびかせました。動物や花、アニメ「鬼滅の刃」のキャラクターなどが描かれたたこが揚がり、和やかなひとときを楽しみました。最後にたこが揚がった高さを競う高飛び賞など全7部門で表彰がありました。



↑グラウンドでたこ揚げを楽しむ参加者



町民の健康づくりの推進に貢献 厚生労働大臣賞受賞

石田ミサ子さん(桜戸)が厚生労働大臣賞を受賞しました。これは、地域の健康づくりの推進に貢献した実績があった人や団体に贈られるもの。過去10年以上にわたって県が行っている「ダメ。ゼッタイ。」普及運動へ参加し、薬物乱用防止の普及啓発に貢献されました。石田さんは「これからも薬物乱用防止の啓発に努めたい」と話していました。



復興と無病息災を願って 平国・福浦どんどや

1月10日(日)、旧平国小学校で平国・福浦地区住民など約50人が参加してどんどやが行われました。同校が閉校する平成28年まで毎年行われていたもので、ことしは令和2年7月豪雨災害からの復興・復興の願いを込めて4年ぶりに復活。竹や木の枝を組んだ約10mのやぐらに火が放たれると、参加者は竹の先に付けたもちを焼いて楽しんでいました。



↑引き抜いた大根を手作業で運んでいきました



↑校舎の軒先に大根をつるしました

年末年始の事故に注意喚起 交通事故防止キャンペーン

12月23日(水)、年末年始の交通事故防止に合わせて、交通安全母の会(町婦人会)と駐在所連絡協議会が交通事故防止キャンペーンを水光社津奈木店で行いました。婦人会8人と駐在所連絡協議会、水俣警察署員が啓発チラシやポケットティッシュ、反射ストラップを配布し交通事故防止や防犯を呼びかけました。



↑来店者にチラシなどを配布する婦人会員

農業の魅力、食の大切さを学ぶ 中学校大根収穫体験

12月15日(火)、津奈木中学校1年生39人が地元特産の大根の「寒漬」づくりに取り組み、自分たちで育てた大根を収穫して干す作業を行いました。町が進める「つなぎ FARM」の取り組みの一つで、農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JA 青壮年部と協力して行っています。

中尾地区の畑で育ててきた約1,500本の大根を収穫。生徒たちは農家に教わりながら、大根が折れないよう1本ずついねいに引き抜き、ついた泥を手作業で洗い流し、学校に戻って校舎の軒先につるしていきました。大根は寒風にさらすことで3分の1ほどに縮みます。その後、塩漬にし、再度干す工程などを経て、2月にはおいしい寒漬ができあがる予定です。つなぎ百貨堂などで販売されます。大根を収穫した生徒は「寒かったです、大きく育った大根をみるとうれしかった。多くの人に食べてもらいたい」と話していました。



税金の役割や重要性を理解 中学3年生租税教室

12月9日(水)、次世代を担う若い世代に税金の役割などの租税制度を正しく理解してもらおうと租税教室が津奈木中学校で行われました。町税務班職員が、税はなぜ必要なのかなどを説明。税が無くなった仮想社会を描くアニメを視聴しました。生徒は「税金のおかげで私たちは学校に行ける。日頃どれだけ便利に過ごせているのか分かった」と話していました。